

HOPE^{plus}

[市立芦屋病院だより]



国際協力機構 (JICA) 視察について

国際協力機構(JICA)の招きで来日したベナン、ジブチ等西アフリカの政府・医療関係者6か国13名の視察団が8月12日、日本の地域医療を学ぶため来院され、1日当院にて研修を行いました。

研修では、経営改善に向けた取組や、地域の福祉・介護との連携体制について当院の職員から講義を行いました。また、昼食会では、日本とアフリカの医療制度の相違について当院の医師・看護師・コメディカルスタッフと意見交換し交流を深めました。

研修生からは「管理者がリーダーシップを発揮し、医療の質の向上を目指して改革を推進していること」、「職員が目標を定めて業務に取り組んでいる仕組み」、「非常に優れた療養環境で、衛生管理も徹底されていることに驚いた。見習うべき点が多い」、「芦屋病院の改革成功体験を母国の医療体制の改善に役立てたい」とのご意見をいただきました。当院の取組が少しでもアフリカの医療の向上に役立つことを願っています。



昼食は患者給食と同じメニューを提供。おいしいと喜んで頂きました。



院内も視察



あしやホスピタルフェスタ2014開催のご案内

開催日 平成26年11月9日(日) 10時~16時

場所 市立芦屋病院 ※当日は、病院ネットワークバスも臨時運行します。

プログラム マチネーコンサート、ミニ公開講座、調剤体験、骨密度測定、介護支援ロボット展示、腹腔鏡操作体験

など今年も盛りだくさんの内容を企画しています！
詳しくは芦屋病院ホームページをご覧ください。

午前中は災害時のトリアージ訓練を行います！
いざという時に備えて、一緒に学びましょう!!

入場
無料

皆さんの
お越しを
お待ちしております！

お問い合わせは…

市立芦屋病院 総務課 **0797-31-2156**

～10月はピンクリボン月間です。乳がん検診を受けましょう～



ピンクリボンは乳がんの啓発運動の象徴であり、乳がんに対する理解と支援のシンボルです。残念ながら日本では乳がんにかかる人が年々増加しており、現在、女性が罹りやすいがんの第1位です。しかし、乳がんは早期発見すれば生存率の向上や治療法の選択の幅が広がることを期待できます。そのためには定期的に検診を受けることが非常に大切です。

当院では、問診・視触診・マンモグラフィで検診を行っています。マンモグラフィは女性技師が撮影を行います。検査についての詳しい内容も当院のホームページに記載しておりますので、是非ご覧ください。

市立芦屋病院ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>



がんフォーラム 2014

「がんって感染するの？ 遺伝するの？」を開催しました

9月6日（土）に芦屋市民センタールナ・ホールにて「がんフォーラム2014」を開催しました。今回は、婦人科がんや消化器がんを通じて、「がんと感染症」や「がんと遺伝子」の関係を正しく理解していただき、その上で、食事やタバコ・アルコールなどの習慣がいかに発癌と密接に関連しているかを学ぶ講演会となりました。当院からは竹田診療局長、水谷診療局長、臼井主任医長の3名が胃がん、大腸がん、肝臓がんについて講演を行い、特別講演では木村 正 先生（大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室教授）に女性特有のがんについて講演して頂きました。

今や日本人の半分はがんになる時代と言われ、完全に避けて通ることはできません。今後も当院は皆さんのがん予防に役立てて頂けるよう『がんフォーラム』を開催します。毎回、わかりやすい内容で講演を開催していますので、ぜひ来年もご参加ください。また、次回のがんフォーラムで取り上げてほしいテーマについてもご意見お待ちしております！



緩和ケア外来について

当院では、毎週月曜日と木曜日の午後に緩和ケア外来（完全予約制）を行っています。

がんが診断されるといろいろな悩みが一度にやってくるので、患者さん、ご家族の心の苦しみも大きいと思います。

がんが診断された時から緩和ケアも一緒に受けていただき、少しでも苦しみを小さくしてほしいです。

緩和ケアは医師・看護師だけでなく、栄養士、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカーなど患者さん、ご家族を中心に多職種で一緒に考え治療をしたり、相談にのっています。

緩和ケアに関するご相談は地域連携室まで！

緩和ケアについて相談したい、緩和ケア外来を受診したいなど緩和ケアに関するご相談は外来棟3階地域連携室へおたずねください。お電話でのご相談もお受けしています。

市立芦屋病院地域連携室 TEL 0797-31-2156（受付：平日月曜日～金曜日 午前9時～午後5時）

緩和ケア外来受診の際には、現在受診されている主治医の紹介状（診療情報提供書）、直近の画像データ、検査データが必要となりますのでご準備ください。

外来受診時はご本人がお越しになれない場合は、家族のみの受診でも可能ですが、必ず患者さんの病状について把握されている方の来院をお願いします。



芦屋市 阪神・淡路大震災20周年事業

「阪神・淡路大震災をのりこえて！」

開催日

平成26年12月23日(火・祝) 13時~16時

入場無料

場所

芦屋市民センター ルナ・ホール

プログラム 第一部

コンサート
200回記念芦屋病院マチネーコンサート
金澤 佳代子 先生 他

第二部

講演

「大震災から学ぶところのケア~阪神・淡路大震災と東日本大震災~」
兵庫教育大学教授・精神科医師 岩井 圭司 先生

お問い合わせは…

市立芦屋病院 総務課

0797-31-2156



10月の院内の催し・各教室のご案内

芦屋病院マチネーコンサート

日時：10月19日(日)
14時30分~

場所：外来ホール
黄色いピアノ前

出演：手話歌グループ
あしやの皆さん



両親学級

※毎月第2土曜日開催

日時：10月11日(土) 10~12時
場所：3階東病棟
内容：お産の経過・赤ちゃんとお風呂
対象：妊娠22週以降の妊婦と
パートナー5組
問い合わせ先：産婦人科外来
(電話は13時~16時)

健康教室

※年4回開催

日時：12月17日(水)
13時30分~
場所：芦屋市保健福祉センター3階
会議室1
内容：ウイルス性肝炎 Update
講師：消化器内科 臼井 健郎 医師
問い合わせ先：地域連携室

秋

の公開講座のご案内

~毎日を健康に楽しく過ごすためにできること~

場所 芦屋市民センター401号室

時間 午後2時~午後3時30分

料金 1回 200円

問い合わせ先 芦屋市立公民館
(0797-35-0700)

日程	内容	講師
10月4日(土)	① 脳卒中になりたくない方へ ② 脳腫瘍ってどんな病気?	兵庫医科大学病院脳神経外科 主任教授 吉村 紳一 医師 講師 友金 祐介 医師
11月29日(土)	免疫 ~外敵と戦い、腫瘍とも闘う防衛力~	血液・腫瘍内科 白鹿 正通 医師
12月13日(土)	タバコの話	呼吸器内科 齋 陽子 医師

ぷちぷちパジャマのご紹介

当院の看護師が
企業と共同開発!

手術後の患者さんは手術部位から不要な体液を排出するためのチューブが入っている場合があります。そのチューブの曲がりやガゼや衣服の汚染を防止することを目的に、パジャマの開発に取り組みました。実際に手術を受けた患者さんや看護師・医師に意見を聞き、安全と使い心地の検証を何度も重ね、企業との共同開発でぷちぷちパジャマが誕生しました。ぷちぷちパジャマは、両脇にホックをつけチューブを出す位置を調整することで、チューブの曲がりやを防止ができると同時に、安全に歩行できるというメリットも持ち合わせております。胸元を開閉式にすることで患者さんのプライバシーにも配慮しています。更に、パジャマと共に着用することで快適に過ごせるぷちぷちパンツも同時開発し、現在手術後の受けられた患者さんにご好評をいただいております。

外来棟3階
ローソンにて販売中!



事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

◆◆◆ ポリウッド ◆◆◆

「ポリウッド」が元氣です。映画の都として誰もが知っている「ハリウッド」を中心に、アメリカで製作される映画の本数は年間約 700 本です。そのアメリカの 2 倍近くの映画を製作し、商業映画製作本数で世界第 1 位にランクされるのがインドです。ちなみに日本は中国に次いで第 4 位で約 450 本です。ムンバイ (旧名ボンベイ Bombay) でインド映画の多くが撮影されることから、ボンベイの頭文字「B」とハリウッドをもじって、インド映画は「ポリウッド Bollywood」と呼ばれています。

インド映画といえば、シンプルなストーリーで美形の男女が歌って踊って、豪華絢爛ミュージカル仕様が定番です。ちょうど日本映画が黄金期を迎えた 1960 年前後を彷彿とさせる状況でした。そのポリウッドにすこし異変が起こっているようです。最近続けて封切られた「マダム・イン・ニューヨーク (原題 English Vinglish)」と「めぐり逢わせのお弁当 (原題 The Lunchbox)」にそれを感じました。両映画とも主人公は典型的な良妻賢母の専業主婦です。「マダム・イン・ニューヨーク」のシャシは料理上手、家族でただ一人英語が出来ないため、夫や娘から相手にしてもらえません。ニューヨークで暮らす姪の結婚式の手伝いに家族に先行して出かけた彼女が一念発起、語学学校でこっそり英会話を身につけます。クライマックスの結婚披露宴で、みんなをあっと言わせるスピーチを英語で披露し、ヒロインに感情移入している観客をしてやったりと喜ばせます。

「めぐり逢わせのお弁当」のイラもまた娘を持つ料理好きの専業主婦、手作り 4 段重ねのお弁当を弁当配達人に託して夫のオフィスに毎日届けます。ところが 600 万分の 1 の確率の誤配送で、退職を控えた男やもめのもとに届けられます。料理のおいしさに感激した男と、夫と異なり完食された弁当箱に飲むイラとの間に手紙のやりとりが始まります。夫は妻に向き合うことなく、その上浮気までしているようで、まだ見ぬ男にイラは密かに思いを寄せていきます。「マダム・イン・ニューヨーク」のシャシも語学学校のク

ラスメートに恋され心が揺らぎます。妻を愛してはいても尊敬していない「マダム・イン・ニューヨーク」の夫、愛妻弁当に感想も無く、妻に目もくれない「めぐり逢わせのお弁当」の夫、いずれも妻の人格や自尊心を認めない「インド社会」いや「男社会」を現し、映画はこれに痛烈な一矢、二矢を放っています。

「男社会」という意味では日本も負けていません。全就業者に占める女性の比率は 42.2%(2013 年)と欧米と大差ありませんが、女性管理職の比率となると、欧米の 25~40%以上と比較し、11.1%(2012 年)と大きく出遅れています。それどころか、今年 7 月に行われた全国 1 万社の企業調査では女性管理職の平均はわずか 6.2%です(帝国データバンク)。先頃、芦屋病院において、兵庫県医師会男女共同参画推進委員会と当院勤務医との懇談会が開かれました。女性医師からの意見のひとつに、いくら頑張っても病院長等トップ管理職になることが出来ないという苦情が出ました。たしかに私の知るかぎり全国 200 名を越える病院事業管理者のうち女性は 1 名だけで、それも医師ではなく事務職です。

政府の目指す 2020 年女性管理職 30%の目標実現は高いハードルですが、今や男女で知恵を絞らなければならない事態であることは確かです。

(2014.10.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内

交通案内

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

- タクシー 約5分
- バス 約15分
JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番
- 徒歩 約30分

市立芦屋病院の理念

基本理念
生命の尊厳を基本とし、安全で良質な医療を提供します
芦屋市の中核病院として、地域社会に貢献します

経営理念
あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

日本病院機能評価機構 認定施設 (ver. 6.0)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町 39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>

※ 病院ネットワークバスもご利用下さい(無料)